

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年12月15日

事業所名 一般社団法人侑輝会 スマイルキッズ

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--|--|----|-----|--|---------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | 階段の手すり。 段差をなくすよう床に斜面を作成した。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | 使用後の部屋及び遊具の消毒を徹底している。 | |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | | |
| | 6 | 保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | 相談事業との連携。 個別支援時の来所時の懇談等 | |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行い、その結果を、事業所のホームページ等で公開している | ○ | | | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | ○ | | | |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を設けている | ○ | | 月に1から2回全体で研修(パートも含む) | |
| 適切な支援の提供 | 10 | 子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたツールを使用している | ○ | | 専門の機関誌など | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | △ | | | 地域支援についての支援内容は特記していない。 全体の中で行っている。 |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 固定化しないよう、様々な人や他者からの情報研修などミーティングに取り入れている。 | |
| 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|--------------------------------------|--|---|-----|---------|--------------------------------|-------------------------|
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 内容や役割分担について予定表に記入している。 | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 気づいた点の共有をしている(ノートに記入など) | 一人ひとりの勤務時間が違うため難しいことが多い |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | ○ | | 現在利用されていない。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | ○ | | 現在利用されていない。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | △ | | 電話等で情報共有を行っているがコロナ禍で集まれないことが多い | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | △ | | 電話等で情報共有を行っているがコロナ禍で集まれないことが多い | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 研修(リモート)を受けている。 | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | ○ | | 感染防止対策で行っていない。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 連絡票や電話で伝えることが多い。 | |
| 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | | ○ | | | |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 保護者説明会を開催した。 | 契約時や変更時、重要事項説明書の中で行う。 |
| | 33 | ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に基づき作成された「児童発達支援計画」の支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|------------|--------|--|-----|---------|--|------------------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | △ | | 保護者からの要望に応じて相談している。 | 定期的な相談も行いたいですが、保護者との予定が合わない。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | △ | | 今年11月から12月に保護者会を行った。感染予防のため5回に分けて実施した。 | |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 適宜対応している。 ときには希望を募ることもある。 | |
| | 37 | 活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | 予定表を出している。 | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | 書類の扱いは、もちろん研修等でも念入りに取り組んでいる。 | |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | 主に個別支援で行っている。 | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | 3年前までは夏祭りで地域の方を招待したが、今はコロナ禍でやめている。 |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | 保護者会では周知した。 | 保護者全員にお知らせできるよう工夫したい。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | △ | | 保護者には詳しくお聞きし対応している。 | 現在医師にかかっている利用者さんは利用なし。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 研修会を開催 | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | 事前に充分説明している。 | 計画への記載はできていない。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。